

青森中央経理専門学校 青森中央文化専門学校  
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人青森田中学園  
青森中央経理専門学校  
青森中央文化専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人青森田中学園 青森中央経理専門学校並びに青森中央文化専門学校は  
令和2年度第1回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので報告致します。

●開催日

令和2年 9月 4日（金） 13:30～14:40

●開催場所

本学園9号館（学術交流会館）3階 934教室

●企業等委員

栗原 良明 氏 （FPエデュケーションズ青森 代表）欠席  
永井 栄 氏 （医療法人白鷗会 まちだ内科クリニック 事務長）  
高坂 麻子 氏 （公益社団法人 青森観光コンベンション協会 事業推進監/ねぶたの家 ワ・ラッセ 副館長）  
太田 智三 氏 （青森市横内町内会 町会長）  
樽澤 康太 氏 （株式会社ティエル・マネジメント/青森中央経理専門学校卒業生）  
本田 大 氏 （青森県アパレル工業会 会長/株式会社ワークス 取締役工場長）代理  
熊野 麻美 氏 （株式会社マキムラ ルートファッション事業部/青森中央文化専門学校卒業生）欠席

●学校側

石田 憲久 （学校法人青森田中学園 理事長、青森中央経理専門学校 校長）  
久保 薫 （学校法人青森田中学園 学園長、青森中央文化専門学校 校長）  
櫻庭 肇 （学校法人青森田中学園 事務局長）  
鈴木 伸吾 （青森中央経理専門学校 主任教諭）  
曾我 武 （青森中央文化専門学校 主任教諭）  
塚本 大広 （青森中央経理専門学校 教諭）  
佐藤 紋子 （青森中央経理専門学校 教諭）  
渡辺 琴美 （青森中央文化専門学校 教諭）  
小笠原 華子 （青森中央文化専門学校 教諭）

●次第

1. 開会あいさつ

学校法人青森田中学園理事長 青森中央経理専門学校校長 石田 憲久

2. 出席者（委員）紹介

→資料に基づき、出席者を紹介

3. 規定・位置づけ

→資料に基づき、規定・位置づけを確認

4. 令和元年度自己点検評価結果について

→概要と取り組み状況・成果について説明

○基準 4 教育成果

→就職率は令和 2 年 3 月末時点で青森中央文化専門学校は 75%、青森中央経理専門学校は 94.4%であった。令和元年度の退学者は青森中央文化専門学校、青森中央経理専門学校共に 0 名であった。

○基準 5 学生支援

→青森中央文化専門学校、青森中央経理専門学校共に高等教育の修学支援新制度（高等教育の無償化）の対象校となった。

○基準 6 教育環境

→学園全館に Wi-Fi 環境を整え、学園設置校全員に office365 のアカウントを付与し授業等で活用している。

○基準 7 学生の募集と受入れ

→令和 2 年度入学者数は青森中央文化専門学校が 12 名、うち指定校推薦制度での入学者数は 5 名であった。青森中央経理専門学校が 25 名、うち指定校推薦制度での入学者数は 18 名であった。

5. 質疑応答・意見交換

→委員の皆様から自己点検・評価報告書に対する質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
・現在、新型コロナウイルスの感染が拡大されている中で、専門学校ではどのような対応策を行っているのか。	・建物に入る際の手指消毒、校内にいる際のマスク着用義務、授業の際もマスク着用必須、扉や窓を開けて換気をする等で対応策を行っている。
・経理専門学校は定員 20 名であり、今年度の入学者数は 25 名と定員オーバーしているが、いいのか。	・定員は、人を受け入れる教育環境を整備しているということ。定員以上の人数になって、教育の質が薄まらないよう努めている。

<p>・全館の Wi-Fi 環境が整ったのは良いことだと思う。コロナウイルス拡大により休校もあったが、リモートの授業は無いのか。</p>	<p>・リモートの授業準備はしていたが、休校も長引かなかつたため実際には行われなかった。</p>
<p>・欠席時数について、学生達は何か大きな理由があつて休んでいるのか。例えば、バイトに行つて疲れて出られないとかそういうこともあるのか。</p>	<p>・欠席の理由はそれぞれであり、昔はそのような理由での欠席もあったが、最近はそのような理由での欠席はほとんどない。</p>
<p>・生徒数が減つてきていて、専門学校入学希望者も減ってくる可能性もある。高校生を対象にボランティアなどをしてアプローチしたらどうか。</p>	<p>・経理専門学校では「マネー講座」や「SPI 講座」を出前講座として行っている。</p> <p>・文化専門学校では、服飾家政分野コースのある高校限定になってしまうが、ファッションショーの構成のお手伝いや、ウォーキング・ポージングの指導として毎年継続して行っている。</p>
<p>・いろいろな支援制度を入学希望者に対して打ち出していけばメリットになるのではな いか。</p>	<p>・国の制度である学費の無償化制度で対象校となつたので、この点もメリットとして活用していく。</p>

## 6. 次回日程（案）

→資料に基づき、次回日程（案）について説明

## 7. 閉会挨拶

学校法人青森田中学園学園長 青森中央文化専門学校校長 久保 薫

以上をもって、終了した。